

谷戸沢処分場のフクロウ2羽が無事に巣立ちました！ ～4年連続、フクロウのヒナが、日の出の森の中へ～

東京たま広域資源循環組合（管理者：町田市長石阪丈一）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）の巣箱に営巣したフクロウのヒナが2羽、新緑の森の中へ巣立ちましたのでお知らせします。

当組合では、3月1日にフクロウが谷戸沢処分場の樹林内で営巣を始め、4月4日に2羽のヒナを確認したことをお伝えしました。この2羽のヒナはすくすくと育ち、5月6日1羽、5月7日にもう1羽のヒナが巣立ったことを確認しました。

なお、この様子は当組合のホームページでご覧いただけます。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。

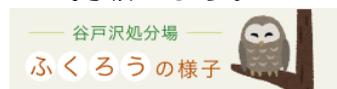


谷戸沢の森へ巣立った
2羽のフクロウのヒナ
（5月6日撮影）

当組合では、6月22日（土曜日）に、谷戸沢処分場で保全している「国蝶 オオムラサキ」の見学会を開催します。あわせて、営巣したフクロウのヒナの巣立ちまでの写真や映像も紹介します。

なお、見学会の詳細については、5月10日以降にホームページに掲載します。

◆循環組合ホームページ：<http://www.tama-junkankumiai.com/>



巣箱内でのフクロウの様子（5月5日、ふくろう巣箱カメラで撮影）



巣箱から顔を出すフクロウのヒナ（5月6日撮影）



今回、場内で撮影されたフクロウの様子